

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和5年度技術情報第15号（エンドウ類のアザミウマ類）について（送付）

エンドウ類のアザミウマ類について下記のとおり取りまとめましたので、周知およびご指導をよろしくお願いたします。

なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（<http://www.jpnp.ne.jp/kagoshima>）にも掲載しています。



令和5年度 技術情報第15号

11月の調査で発生ほ場率が高く、また、被害程度の高いほ場も認められています。被害莢の発生等をよく観察し、早期防除に努めてください。

- 1 農作物名 エンドウ類
- 2 病害虫名 アザミウマ類
- 3 発生状況
 - (1) 発生地域 県本土
 - (2) 発生量 多

4 情報の根拠

- (1) アザミウマ類による被害莢の発生ほ場率は、11月が75%で平年（46%）より高く（図1）、過去10年では最も高い。また、被害程度の高いほ場も認められている（表1）。
- (2) 鹿児島地方気象台の発表（11月21日）によると、九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年より高いと見込まれており、アザミウマ類の発生に好適な条件が続く。

5 防除上注意すべき事項

- (1) アザミウマ類が若莢に産卵すると「白ぶくれ莢」となるので、若莢の被害や粘着トラップへの誘殺等から発生状況を把握し、早期防除に努める。
- (2) 花卉の奥に生息するため、丁寧な薬剤散布に努める。
- (3) 薬剤散布後は、防除効果を確認する。
- (4) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤(RACコード参照)のローテーション散布を行う。

6 調査結果

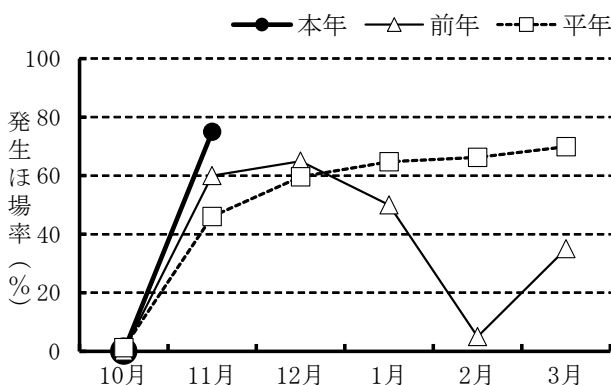


図1 アザミウマ類（被害莢）の発生ほ場率の推移

表1 アザミウマ類（被害莢）の被害程度別ほ場数

調査地点	ほ場数	被害程度				
		甚	多	中	少	無
指宿市山川	8	1	3	4		
阿久根市黒之浜	4					4
垂水市浜平	4	1	1	2		
計	16	2	1	5	4	4

注) 被害程度(被害莢率) 甚: 31%以上, 多: 16~30%, 中: 6~15%, 少: 1~5%